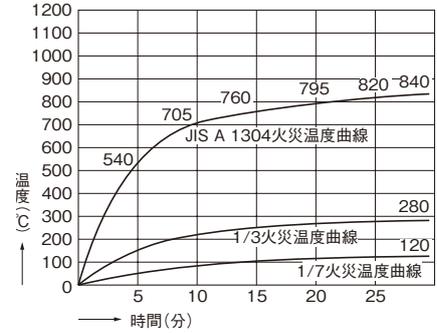


耐熱分電盤

■耐熱通電性能

- 1) 一種耐熱分電盤………JIS A 1304火災温度曲線に示す温度で30分間給電でき得る性能を必要とします。
- 2) 二種耐熱分電盤………JIS A 1304火災温度曲線に示す温度の3分の1の温度で30分間加熱した時、異常を生じないものとします。



■一種・二種耐熱分電盤の種類*1

- 1) 専用形………防災電源回路専用の分岐開閉器(主開閉器、引込口装置などを取付けたものを含む)、分岐過電流保護器、電磁接触器など、およびキャビネットから構成された形式。
- 2) 共用形………防災電源回路用と他の電源回路の分岐開閉器(主開閉器、引込口装置などを取付けたものを含む)、分岐過電流保護器、電磁接触器などが1つのキャビネットに構成された形式。

*1. 対応可能機種は、専用形のみとなります。

■一種・二種耐熱分電盤の設置区分

配電盤などの選定(消防法によるもの)

設置場所		配電盤などの種類
不燃材料で区画された機械室など	電気室*2	一般形
	機械室*3	二種耐熱形
耐火性能を有するパイプシャフトなど		二種耐熱形
居室		一種耐熱形
屋外または屋上*4		二種耐熱形
階段	一般階段	一種耐熱形
	避難階段、特別避難階段およびその付室	二種耐熱形
廊下	一般廊下	一種耐熱形
	開放廊下*5	二種耐熱形

*2. 不燃専用室以外の場所は二種耐熱形を用いること。

*3. 火気使用の機械室は一種耐熱形を用いること。

*4. 建築基準法第2条第6号に定める延焼のおそれのある場所かつ不燃材料で造られた外壁の屋外(または屋側)で開口部から水平距離3m(開口部に防火戸を設けた場合は1m)未満の部分は一種耐熱形を用いること。

*5. 耐火構造で造られた壁で開口部が水平距離3m(開口部に防火戸を設けた場合は1m)未満の部分で、かつ建築基準法第2条第6号に定める延焼のおそれのある場所は一種耐熱形を用いること。

■設置場所における配電盤などの種類については、各自治体により異なる場合があります。事前に確認してください。

■一種、二種ともに耐熱分電盤の表示灯、および名称板が容易に外部より確認できること。

■専用形とは負荷が非常回路のみのことをいい、共用形とは、負荷に照明などの一般回路が複合したものをいう。

■一種・二種耐熱分電盤組替仕様

分岐2回路		ブレーカ3P 100A×2コを最大とし、3P 100A以下のブレーカ2コまでの組み合わせが可能です。(入線100mm以下) [例] 3P 100A×1 3P 75A×1	主幹ブレーカ回路		主幹ブレーカ100Aまでとし、分岐ブレーカ2P 50A以下6コまでの組み合わせが可能です。(入線60mm以下) [例] 主幹 2P 100A×1 分岐 2P 20A×6
分岐3回路		ブレーカ3P 100A×1コ、3P 50A×2コを最大とし、3P 100A以下のブレーカ1コと3P 50A以下のブレーカ2コとの組み合わせが可能です。(入線100mm以下) [例] 3P 75A×1 3P 50A×1 3P 20A×1	WH付回路		一種、二種耐熱分電盤には、WHおよびスペースを取付けることはできません。WHは盤外取り付けとなります。
分岐4回路(6回路)		ブレーカ3P 50A×4コ、または2P 50A×6コを最大とし、3P 50A以下4コまで、もしくは2P 50A以下6コまでの組み合わせが可能です。(入線100mm以下) [例] 3P 50A×1 3P 20A×3			

1. 上表の図は一種耐熱分電盤の例です。二種の場合は断熱キャビネットおよび表示灯用変圧器がありません。

2. 定格電流の70% (耐熱定格電流) 以下でご使用ください。

3. 二種耐熱分電盤において引込み、引出し端子を必要とする場合はご指定ください。

■納期は別途お問合わせください。

■上記以外の仕様につきましては別途お問合わせください。

標準分電盤

プラグイン

協約形
電灯・動力

小型高性能
電灯

幹線分岐盤

ねじタイプ
分電盤

開閉器
引込計器盤

SFD盤
個別対応品

太陽光発電用
(産業用)

独立電源
システム

特定用途別
分電盤

組替仕様
オプション

技術資料